

2023 年度

授業概要

科目名	義肢装具学演習			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
							2年 後期
【授業の目的・ねらい】 作業療法士に必要な義肢や装具を学ぶ。							
【実務者経験】 義肢装具士として、靴の加工の会社のサポートとして製作に従事。							
【授業全体の内容の概要】 各種義肢や各種装具を幅広く理解し、作業療法の介入に必要な基礎知識を学ぶ。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 義肢、特に義手、そして、上肢装具を幅広く理解し、作業療法における治療に役立てることができる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
1	義肢装具総論						資料・PC プロジェクター
2	義肢装具総論						資料・PC プロジェクター
3	各種義足について						資料・PC プロジェクター
4	義足のチェックアウト						資料・PC プロジェクター
5	前腕義手						資料・PC プロジェクター
6	上腕義手						資料・PC プロジェクター
7	義手のチェックアウト						資料・PC プロジェクター
8	筋電義手						資料・PC プロジェクター
9	下肢装具/体幹装具						資料・PC プロジェクター
10	各種疾患の装具（上肢装具を中心に）						資料・PC プロジェクター
11	各種疾患の装具（上肢装具を中心に）						資料・PC プロジェクター
12	スプリント作成						資料・PC プロジェクター
13	スプリント作成						資料・PC プロジェクター
14	スプリント作成						資料・PC プロジェクター
15	スプリント作成						資料・PC プロジェクター
	定期筆記試験						
【使用教科書・教材・参考書】 義肢装具学							
【準備学習・時間外学習】 しっかり復習して疑問点がないようにしておくこと。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は小テストを30点、課題の評価を20点、定期筆記試験を50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							